

こおろぎ

発行日 2007年 3月 1日 No.169
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町 777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
URL <http://www.origin-co.com>

一番大切なお金

私は以前、全国社会福祉協議会の研究開発委員をしていました。私がある障害児の施設に行った時のことです。

その施設には、翌日で卒園する一人の少女がいました。彼女は、母親が失踪し、父親が肝臓病で入院をしたため、施設に預けられたようですが、12歳になってもまだお金の区別が出来ませんでした。施設を出てから彼女が困らないようにと、女性職員が一万円札から一万円札までを順に並べて、「このお金が五つで、これだよ」と、卒園していく彼女にお金の種類を教えていました。

翌朝、私が出発の準備をしていると、その職員が「よかったら彼女の勉強の成果を見ていってください」と言うので、彼女の卒業試験に立ち会うことになりました。テストの前に職員さんは、もう一度お金を並べて、「このお金が五つで、これだよ」と説明したあとに、「この中で一番大切なお金はどれ？」と彼女に尋ねました。

私は、これだけ説明すれば当然一万円札を指すだろうと思って見ていたのですが、その子はニコニコしながら10円硬貨を指差したのです。「あれあれ！」と思って見ていると、その職員さんはガッカリした様子も見せず、「ごめんね。教え方が悪かったね。もう一度説明するね」と言って、また「このお金が五つで、これだよ」と説明を始めました。その職員さんの姿には本当に頭が下がりました。

その説明が終わると、職員さんは彼女にもう一度「この中で一番大切なお金はどれ？」と、尋ねました。私は「今度こそ一万円札を指すだろうな」と思って見ていたのですが、その彼女は嬉しそうに微笑みながら10円玉を指差したのです。

さすがに今度はその職員さんもガッカリした表情で何かつぶやいたあとに、「どうしてこれなの？ こっちじゃないの？」と一万円札を指差しました。すると彼女は笑いながら「これがあるとお父さんの声が聞こえるんだもん」と10円玉を指差したのです。

携帯電話を持たない彼女にとって公衆電話が父親の声を聞ける唯一の手段だったのです。この彼女の言葉は、本当にショックでした。「一番大切なお金」と言われて、一万円札だとばかり思っていた自分が本当に情けなくなりました。私よりも知的障害を持ったこの子のほうがよほど大切なものを知っていると思ったのです。

サイパンのパンザイクリフでは、誤った思い込みのために終戦後にアメリカ兵が止めるのを振り切って多くの日本人が身を投げました。今思うと信じられない行為ですが、もしかしたら今の時代の私達も誤った思い込みのために、今、身を投げているのではないのでしょうか？ 何十年か経ったときに、その答えが出ると思います。

今月の活動情報

活動を早く知りたい方は、ホームページで

- 3/4(日) 駿府マラソン (静岡市内)
- 3/5(月) 南アルプス建設的な生き方を学ぶ会
- 3/8(木) 沼津建設的な生き方を学ぶ会 (沼津市原地区センター)
- 3/8(木) 沼津経営塾 (沼津市民文化センター)
- 3/9(金) 社員研修 (株式会社アーティスティックス)
- 3/10~11 静岡経営塾 (オリジン)
- 3/13(火) 東京建設的な生き方を学ぶ会 (田町・コネクト)
- 3/14(水) 東京経営塾 (田町・コネクト)
- 3/15(木) 山中湖建設的な生き方を学ぶ会 (安心サービス)
- 3/17(土) 島田建設的な生き方を学ぶ会 (オリジン)
- 3/17~18 東京経営塾「マネージメント・ゲーム」(田町・コネクト)
- 3/20(火) 浜松建設的な生き方を学ぶ会 (京丸園)

嬉しいお便り

先日、本当に嬉しく思えることがありました。自分で、ココアを作ろうとしていた娘(小三)がココアの粉を床にぶちまけてしまった時、自然に「失敗は成功のもと。こいつう時のためにママはいるんだよ」と言い、一緒にホウキで掃いて片付けをしたのです。娘は、「ママの子とてよかった」と言ってくれました。以前の私なら思いっきり怒りまくっていました。研修に参加して、やっと何が大切なのか、少しずつ分かってきた気がします。リフレッシュー・セミナー以来、不思議と家族に怒らない私になっています。そうしたら家庭や家族が今まで以上に好きになってきました。ありがとうございました。

おはがきをありがとうございました。娘の合格祈願をしてくださり感謝です。杉井さんも祈ってくださいていることを娘にも伝えました。娘と一緒に暮らせるのは、あと二ヶ月となりそうです。不登校の親暦七年、杉井さんとの出会い暦五年、CJを学んでいる暦三年、他の人にはないこんな経験を生かして家族に、そしてこれからの人生に役立てていきます。杉井さんからの中村さん宛てのはがきを中村さんから見せてもらいました。嬉しくて玄関で泣いてしまいました。気にかけてくださって、ありがとうございました。

東京はがきまつりでの講演は私の心の中にあったわだかまりに気づかせていただいた非常に心に残る内容でした。特に「自分がやってほしいと思っていることだけ」していただいた」と思っているというお話と、杉井さんのお父さんのお話は、自分自身の両親との関係をいやおうなく振り返させられました。今の今まで、他の人と同じように大学に行くことが出来なかったことを恨み、「何もしてもらわなかった」と思っている自分の心に、杉井さんの言葉はズシッと重く響きました。その後、父に手紙を書きました。これから少しずつでもこれまで育ててくれたこと、生きて話が出来ること感謝をして接していきたいと思えます。大切なことに気づかせていただきありがとうございました。

バリ島からの美しい絵はがき、こおろぎをありがとうございました。社員旅行でバリ島へ行かれたとのこと、良かったですね。やはり日々の仕事の疲れやストレス等を発散させるには、全く違った所への旅行、別世界を味わうことが何よりですね！心も体もリフレッシュされたでしょうね。さて、近頃、本当に「自殺」の話が多いですね。実は、私も数年前、心も体も病んでいたことがあり、毎日どうやって死のうかと思っていた日々がありました。そこから抜け出た今、「生きていてよかった」と思えることが、数えきれないほどあります。必ず良かったと思えるときが来ることを、悩んでいる人々に感じてほしいと思います。「大丈夫だよ」と言ってあげたいです。